



東日本教区

教区ニュース

E-MAIL:comm.ejpn@gmail.com Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

2026年8月30日

日本聖公会東日本教区
東京都港区芝公園3-6-18
発行：旧北関東教区文書部
旧東京教区広報委員会

◇代祷・信施奉献先（8月）

▽日本聖公会青年活動のため（2日）▽在韓被爆者
救援のため▽平和を実現するキリスト者ネットの働
きのため▽在日外国人 인권問題のため▽わかちあい
募金のため

◇代祷・信施奉献先（9月）

▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽心
臓病児保育活動のため▽「こども食堂」の活動支援
のため▽カパティランの働きのため

◇常置委員会報告（8月11日）

1. 主教報告

- ・聖アンデレ教会、川越基督教会において、それぞ
れ合同堅信式を予定
- ・聖職候補生、同志願者の動向について
- ・中高生世代キャンプチャプレンの出張命令

2. 教区事務所報告

教務関連報告

- ・今後の教区会関連について

財務関連報告

- ・聖救主教会「キッドスクール」 清算終了

宣教関連報告

- ・旧東京教区 / 信仰と生活委員会「青少年活動に関
わる関係者のための行動指針」
- ・「水俣病 70 年展」協賛について
- ・「ポール・ラッシュ祭」協賛について
- ・「モンゴル聖公会の森」プロジェクト募金について

3. 協議事項

- ・教区事務所報告事項について
- ・人事、その他について

LINE 登録のおすすめ

毎週土曜日教区ニュースが
お手元に届きます。友達登
録をお願いします。



▽関東大震災朝鮮人・中国人虐殺犠牲者 103 年キリ
スト者追悼祈禱会

「わたしたちは今年も忘れない」

日時：8月30日（日）15時～17時

場所：富坂キリスト教センター＋オンライン

呼びかけ：NCC 東アジアの和解と平和委員会

参加費無料・申込み不要 会場献金あり

※オンライン参加の方はグーグルフォームでお申
し込みください。https://forms.gle/

Apkhsd1UZp1gebD26 申込者にオンライ
ン情報が送られてきます。締切8月29日。

問合せ先 general@ncc-j.org 日本キリスト

教協議会（NCC）タイトル名に「追悼祈禱会オンラ
イン申込み」とお書きください。

講演：「王希天^{ワンシーティエン} 惨殺事件をめぐる」 林伯耀^{リンボーヤウ}さん
（関東大震災下で惨殺された中国人労働者を追悼す
る会共同代表。1939年京都丹波で生まれた在日2世。
元南京大虐殺60カ年全国連絡会共同代表。）

メッセージ：金柄鎬^{キムビョンホ}さん（在日大韓基督教会牧師）

今週・来週の予定

8月30日～9月12日

30（日） 聖霊降臨後第14主日
下町教会G教会協議会（深川えんみち）

31（月）～9月2日（水） 日本聖公会第71
（定期）総会（聖アンデレホール）

9月

6（日） 聖霊降臨後第15主日

8（火） 共育プロジェクト

9（水） 礼拝音楽委員会

10（木） 合同聖職養成委員会（Web）

▽浅草聖ヨハネ教会宣教150周年記念感謝礼拝

1876年、江戸監督 C.M ウィリアムズ主教のもと、下町・浅草界隈の関係者の尽力によってはじめられた働きが、宣教開始150周年（教会創立135年）を迎えることができました。

ご一緒にお祈り下されば幸いです。

日時：9月26日（土）10時半

司式：長谷川清純主教（管理主教）

説教：高橋宏幸主教

※どなたでもおいでいただけます。（事前申込不要）

▽聖職養成委員会「召命黙想会」のご案内

日程：10月11日（日）15時～12日（月・休）16時半

場所：汚れなきマリア修道会 町田修道院

（東京都町田市）

講師：成 成鍾司祭

参加費：3,000円

定員：10名（申込多数の場合は初回の方を優先します）

申込み締切り：10月4日（日）※郵送あるいはファックスにて。

聖職に召される「望み」をお持ちの方を対象とした黙想会です。

詳細は、各教会・礼拝堂にチラシを配布してありますので、ご覧ください。

▽オルガン講座「クリスマスのオルガン作品」

日程：2026年10月15日（木）～2027年1月9日（土）

場所：立教学院聖パウロ礼拝堂（立教大学新座キャンパス）

講師：佐藤 雅枝（立教新座中学校・高等学校オルガニスト）

定員：5名＊聴講は不可

参加費：28,000円（上記期間内で1回60分×4回の個人レッスン）

お問い合わせ：立教大学教会音楽研究所 music@rikkyo.ac.jp

詳細はHPに掲載：<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/icm/>



「創造の季節 (season of creation)」は、毎年9月1日から10月4日（アッシジの聖フランシスの祝日）にかけて、キリスト者が教派を超えて、神の創造の業と被造物へ感謝し、またその回復のため共に祈り、行動する期間として世界中で祝われています。

今年のテーマ、「いのちの水 (living water)」は、エゼキエル書47章1節～12節から取り上げられて書かれている「神殿のちの水」は、人間

いのちの水
被造物の季節 2026
9月1日(木)～10月4日(日)



のちの水 (living water) エル書47章1節～12節から取り上げられて書かれている「神殿のちの水」は、人間

被造物そのものの癒やしと再生の象徴とされています。環境破壊や気候危機は世界規模で緊急の問題となっています。地球規模の癒やしと生命の回復を求めて祈りを合わせ、この地球を慈しみ守る行動を通して、この季節を覚えたいと思います。